



子ども育て支援新制度で保育・子育てはとうなるの？

……安心してできる保育園がほしい……



講師：猪熊弘子氏

とき：9月30日（月） 19時より

ところ：名古屋市女性会館 3Fホール

子ども育て支援新制度は平成 27 年 4 月からの実施をめざして、各市町村で子ども育て会議を設置し、秋には二一ス調査が予定されています。そして子ども育て支援事業計画策定へと進んでいきます。

待機児童解消のために横浜市では、株式会社の子育て支援センターを増やしました。その中には、鉄道高架下や、産廃処理施設に隣接する保育園があります。騒音と振動、大気汚染など子どもに体に影響はないのでしょうか？そんな保育園を調査された報告を交えながら、安心して生活できる保育園についてお話を伺います。私たちが望む保育園……子どもが安心して生活できる保育園、親が安心して預けられる保育園、職員も元気に働き続けられる保育園……を考えてみましょう。

主催：愛知県小規模保育所連合会

＜猪熊弘子さんの紹介＞

ジャーナリスト・翻訳家。朝日新聞

出版「AERA with Baby」アド

バイザー。著書『保育がビジネスに

なったとき』（ちいさいなかも）

『死を招いた保育 ルポルターシユ

上尾保育所事件の真相』（ひとなる書房）

現在：ちいさいなかも掲載「3.11

から未来の保育園へ」

